

2024年8月16日発行 第659号



船井メールクラブ

<http://www.funai-mailclub.com>



“未来”



今回の執筆者：June（ジュネ）さん（アカシックレコードリーダー）



《目次》

I.未来予測と情報化社会

II.時代

III.アセンションの秘密

IV.真我を捉えるワーク

V.二極化する世界と百匹目の猿

VI.愛と一層の船のブループリント

※お知らせ：

この文章は、瞑想状態になったり、
脳を活発に覚醒させる内容が含まれています。
移動中での閲覧はくれぐれもお気をつけください。

I.未来予測と情報化社会

こんにちは、暑さが続く日々ですが、
皆さま元気にお過ごしでしょうか。
アカシックレコードリーダーのジュネです。

またこの度も船井メールクラブの皆さまに
大切な情報を共有できますこと、嬉しく思います。

2024年も下半期に突入しましたね。
本年は年始の能登半島地震から始まり、
世界情勢や経済も不安定な状況が続いています。

被災された方々は、まだ復興の中にいらっしやり
1日も早く平穏の時間を迎えられることを祈るばかりです。

この状況の中、改めて近年を振り返ってみますと、
2020年の新型コロナウイルスのパンデミック以来、
社会の問題を一人一人が自分の意思で選択をしなければならない時代になってきたように感じます。

ウィズコロナの新しいライフスタイル、働き方、
ワクチン接種の問題や、健康に過ごすための意識改善など。

お金の面でも今年は新NISAが始まり、
多くの方が国や慣わしに任せていた流れから
「個人の選択」を考える段階へ進もうとされています。

個人の選択や判断が大切な時代になると、
「情報」にいかに関わっていくか、ということも重要になってきますね。

現在のSNS情報の中には、アセンションの影響で
AIや過去データからの予見や、独自の予言のようなものも
チラホラ見かけるようになりました。

このメールを書きはじめた7月下旬には、秋から遅くとも冬までには
株価下落がくるだろう“予測”を多くの方がSNSなどで提言されていました。
そして、現実はその通りになっていくでしょう。

私たちの社会はAIという「感情を含まない人工知能」を手に入れたことで
未来を見通しやすくなりました。

私たち人間には「知らないものは怖い」と感じる本能が
備わっていますので、本来、人は未来を予見すると
ネガティブなイメージをしやすい、考えがまとまり辛いのです。

しかしAIには感情がないため、
ニュートラルな状態で未来を予測します。

人には学習機能が備わっていますので、AIの未来予測に触れていくたび、「未来を見通しても怖くない」という経験が増え、未来を予知することが日常的なことになっていくわけです。

そのため現在の情報にはAIを使った説得力のある解説なども増え、メディアやネット上に渦のように溢れる情報の中から私たちはまず、その真偽を見極めて、“自分なりの方針を決めて”行動していかなければなりません。

皆さまも、ここ近年のご自身の動きを思い出してみられると、情報の渦へアンテナを伸ばしながら「私はどうしていこう？」と更に情報を求めていくような体験をされていらっしゃるのではないのでしょうか？予測が飛び交うカオスのような情報化社会の時代だからこそ、私たちは様々な情報と、自身の信念のバランスを取るという大切な局面に来ているのかもしれない。

AIの活躍により、これからまだまだ、未来予測は増えるでしょう。

アカシックレコードビジョンで見ると、今後起こるとされている南海トラフなどの地震、宇宙線や太陽フレア、隕石の地球への影響なども、AIが未来予測のためにデータ構築をするべく大きく手を広げてスタンバイしているように感じられます。

現在は「地震が来るぞ！」という個人で予測を警告するスタイルが見受けられますが、今後の未来予測は情報を伝える表現においても倫理観が問われるようになりそうです。

そしていくつかの大きなディスカッションを経て、そう遠くない未来には、天気予報の一部のように少しずつ自然な形で天災の危機を知れるようになるナチュラルなフィーリングを感じます。

AIでの予測が重要な情報源となり、
私たちはそれぞれが予測を元に取捨選択をし、
納得いく世界を構築していく、という
個のクリエイトを体験する時代に突入しているように思います。
しかし、私たちがそれぞれに秘めた「愛」と「命の体験」は
AIでは予測できません。

このメールでは、ご自身らしい命の道しるべとなる
魂の視点「アカシックレコード」や
皆さまの身体の底にある「真我」が知るどっしりとした
“命の指針”を思い出していただきながら。

皆さまが流れの早い“風の時代”に、
自分らしい人生をクリエイトしていくためのより良いインスピレーションを
掴んでいただけるようにお話を進めていこうと思います。

II.時代

さて。
実は、こちらのメールマガジンを書いている間に
アメリカ大統領候補のバイデン氏が次期大統領選挙から撤退されました。

アカシックレコードを通して見ていくと
近年は「国に力を！」と団結してきた結束の”重い時代”が終わりを迎え、
個人の様々な見解が、集団の中で認められていく
軽やかな時代へ進んでいくようです。

(※この続きは、船井メールクラブ会員様専用サイトでお読みいただけます。)

《今回の執筆者：June さんのプロフィール》

●June (ジュネ) ●

アカシックレコードリーダー

神奈川県出身。シャーマンの家系に生まれ、幼少より心を読むことに親しむ。大学で産業心理学を専攻し、卒業後は研究所職員として原子力発電所等でヒューマンエラー教育に携わる。心理学の知識を生かし商業デザイナーとして独立。2009年フランス留学中に、アカシックレコードをダウンロードし、アカシックレコードを読み伝え「なぜ生まれてきたのか」という各自のブループリント記憶を蘇らせるヒーリングサロン Noel Spiritual (ノエル・スピリチュアル) を主催。病気や人生の仕組み、命の記録など、現象化の詳細な要因を網羅するアカシックレコードをベースに、具体的、詳細でリアルなセッションを行なう。サイキック能力の高さを認められ、病院や医療機関、治療家のサイキックアドバイザーとしても活躍。誰もがアカシックレコードに繋がり生きることができる——と提唱するワークショップはブロックされた様々な制限を解放し、潜在的な能力を目覚めさせる奇跡体験の数々を生みだし、毎回瞬時に満席となり好評を得ている。2014年よりタイ、カンボジア、ベトナムにて占いを職業支援として女性たちに未来予知の占いスキルを提供する国際ボランティア活動を行う。著書：「アカシックレコードと龍一魂につながる物語」風雲社
フレンチスピリチュアルサロン Noel Spiritual (ノエル・スピリチュアル)

<https://ameblo.jp/everlovever/>